

を設立しています。

未来研究所は、合志市および銀行・大学・地元商工会や民間企業を中心とした14の法人や団体が出資して設立した「まちづくり会社」であり、空き家対策および公的不動産の有効活用を中心に業務活動を進めています。その性質は、本来行政が政策上行いたいのが、収益性が伴うため実施できない事業やコスト削減に寄与する公的不動産管理等を通じて得た収益を「まちづくり」のために継続的に「まち」へ還元・再投資していく民間会社とのことです。

合志市は、空家等対策計画をはじめとする各種計画との整合性を図りつつ、空き家の相談業務や利活用・除却などについて、未来研究所へ空家等対策業務を委託しています。これにより、未来研究所では建築士協会・司法書士会・宅建協会等と連携し、売買仲介、賃貸仲介などを行い空き家の再生に寄与しているのとことです。また、公的不動産の有効活用としては、旧西合志庁舎を官民連携によりテナントビル化した「ルーロ合志」を事業展開されていますが、その他にも合志市立図書館や合志マングミュージアムの指定管理事業や公共施設のPPP事業等にも取り組んでいます。

合志市長の発案により未来研究所

が設立されたことは、地方のまちづくりでは、行政トップのリーダーシップがいかに重要であるかを痛感させられるものであり、少子高齢化・人口減少社会で行政規模が縮小する中、民間の投資や雇用が生まれる環境づくりとして未来研究所の存在は、先駆的なモデルケースと考えます。また、合志市と未来研究所の関係性は、これからの自治体経営に必要なものと言え、大いに参考になりました。



ルーロ合志 玄関前



熊本県合志市
研修の様子

議会日誌

10月

9月30日・10月1日

◇産業経済委員会行政調査

7日◇決算審査特別委員会

◇東彼杵道路建設促進期成会
要望（長崎市・福岡市）

15日◇決算審査特別委員会

18日◇決算審査特別委員会

23日◇長崎県戦没者追悼式

（大村市）

◇伊万里・平戸・松浦・佐世
保市議会・佐々町議会
西九州自動車道建設促進協
議会要望（福岡市）

24日◇決算審査特別委員会

31日◇決算審査特別委員会

11月

5～7日

◇総務委員会行政調査

6～8日

◇文教厚生委員会行政調査

10日◇沖縄戦没者追悼式

（沖縄県）

11日◇全国市議会議長会産業経済
委員会（東京都）

14日◇決算審査特別委員会

15日◇西九州自動車道建設促進大
会東京大会（東京都）

19日◇全国離島振興市町村議会議
長会全国大会

◇長崎県離島振興市町村議
議長会地元選出国會議員要
望（東京都）

22日◇松浦市戦没者追悼式

27日◇長崎県離島振興市町村議
議長会長崎県知事要望

長崎県離島振興市町村議
議長會議長・副議長研修会
（長崎市）

28・29日

◇伊万里・平戸・松浦・佐世
保市議会・佐々町議会
西九州自動車道建設促進協
議会要望（東京都）

29日◇議会運営委員会

6～18日

12月

◇12月定例会

11日◇市議会だより編集委員会

◇各派代表者会

◇議会運営委員会

18日◇議会運営委員会

◇全員協議会

19日◇鷹島海底遺跡保存活用特別
委員会

27日◇全員協議会